

2021年2月21日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第63巻第46号(通算3223号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

かみさま つく  
神様が創られたすべての命を  
たいせつ きょうかい  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

主任担任教師・牛田 匡 牧師

担任教師・水谷 憲 牧師

隠退教師・小林 達夫 牧師

神の求めるいけにえは砕かれた霊。

神よ、砕かれ悔いる心をあなたは悔りません。(詩編 51:19)

レント (受難節) 第1主日礼拝

《**新型コロナウイルスの感染防止に留意しながら礼拝を行います。インターネット中継をしておりますので、ご自宅でも共に礼拝をして頂けます**》

ぜん そ う もくとう  
前 奏 黙 禱

まね ことば てがみ  
招きの詞 ヤコブの手紙

しょう せつ  
1章 13-14節

はじめの詞

さんびか ばん にな じゅうじか せつ  
賛美歌 21-305番「イエスの担った十字架は」(1節のみ) (©JASRAC)

しょうとう ことば  
消灯の詞

せいしょ ふくいんしょ  
聖 書 マタイによる福音書

しょう せつ  
4章 1-11節

いの  
お 祈 り

さんびか かいいていばん ばん きょうだん  
賛美歌『こどもさんびか改訂版』51番「おなかのすいたイエスさまに」(©教団)

メッセージ「神は試練を与えません」

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

さんびか ばん あ の なか きょうだんさんびかかいいていいんかい  
賛美歌 21-284番「荒れ野の中で」(©教団讚美歌改訂委員会)

しゅいの ばん てん わたし ちち きょうだんさんびかかいいていいんかい  
主の祈り 21-62番「天にいます 私たちの父」(©教団讚美歌改訂委員会)

ささげもの  
献 げ 物 (\*)

は け ん ばん かみ めぐ う せつ  
派 遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゅくふく  
祝 福

うしだ ただし ぼくし  
牛田 匡 牧師

こうそう ばん きょうだんさんびかかいいていいんかい  
後 奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく ページ さんしょう  
報 告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\*「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

うけつけ けんきんばこ ようい かた ささ  
受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

**招きの詞** <sup>ことば</sup> ヤコブの手紙 1章13-14節（聖書協会共同訳 ©日本聖書協会）  
13 <sup>ゆうわく</sup>誘惑（<sup>しれん</sup>試練）に遭うとき、だれも、「神から誘惑され（<sup>こころ</sup>試みられ）ている」と言っ  
てはなりません。神は、悪の誘惑（試み）を受けるような方ではなく、ご自分でも人を誘惑し（試みられ）たりなさないからです。14人はそれぞれ、自分の欲望に引かれ、おびき寄せられて、誘惑されるのです。

## 始めの詞

イースターの前、日曜日を除く40日間を「<sup>レント</sup>受難節」と言います。この期間にはイエス様の生涯や死の意味を考え、イエス様に従うとはどんなことなのかを聖書から聴きます。クリスマスの前には毎週ろうそくの光を増やして礼拝をしました。レントの期間はろうそくの光を消しながら礼拝します。神と人とを大切にされたイエス様を共に見上げましょう。

**消灯の詞** <sup>しょうとう</sup> <sup>ことば</sup>（参照：マタイによる福音書 26章36-46節）

「私と共に目を覚ましていなさい」というイエス様の言葉に従えずに、弟子たちが眠り込んでしまったことを思いながら、このろうそくを消します。

**聖書** マタイによる福音書 4章1-11節（聖書協会共同訳 ©日本聖書協会）

1 さて、イエスは悪魔から <sup>こころ</sup>試みを受けるため、<sup>れい</sup>霊に導かれて荒れ野に行かれた。  
2 そして四十日四十夜、断食した後、空腹を覚えられた。3すると、試みる者が近づいて来てイエスに言った。「神の子なら、これらの石がパンになるように命じたらどうだ。」4イエスはお答えになった。

『人はパンだけで生きるものではなく

神の口から出る一つ一つの言葉によって生きる』（申命記8：3）

と書いてある。」

5次に、悪魔はイエスを聖なる都に連れて行き、<sup>はし</sup>神殿の端に立たせて、6言った。「神の子なら、飛び降りたらどうだ。」

『神があなたのために天使たちに命じると／彼らはあなたを両手で支え

あなたの足が石に打ち当たらないようにする』（詩編91：11-12）

と書いてある。」7イエスは言われた。『あなたの神である主を <sup>ため</sup>試してはならない』（申命記6：16）とも書いてある。」

8さらに、悪魔はイエスを非常に高い山に連れて行き、世のすべての国々とその <sup>えいが</sup>栄華を見せて、9言った。「もし、ひれ伏して私を <sup>おが</sup>拝むなら、これを全部与えよう。」

10すると、イエスは言われた。「<sup>しりぞ</sup>退け、サタン。『あなたの神である主を <sup>おが</sup>拝みただ主 <sup>つか</sup>に仕えよ』（申命記6：13）と書いてある。」

11そこで、悪魔は離れ去った。すると、天使たちが近づいて来てイエスに仕えた。

《先週のメッセージより》2月14日 信教の自由を守る日礼拝 水谷憲牧師  
メッセージ「風が強いからこそ」より

聖書：マタイによる福音書 14章22-33節

3世紀ごろのローマ帝国。皇帝は死を恐れず戦わせるために、兵士たちに結婚を禁止していた。そんな中、キリスト教の司祭であったバレンティヌス（バレンタイン）は、若者たちを憐れみ、ひそかに結婚式を行っていたため、処刑されてしまった。2月14日は彼が処刑された日。聖バレンタインは、若者たちの愛のため、自身の信念のために権力に屈しなかった。本日は「バレンタインデー」であると同時に、「信教の自由を守る日」の礼拝でもある。

さて今回のイエスが湖の上を歩くという話。イエスから舟に乗って漕ぎ出すように強いられた弟子たち。これは私たちの姿だ。私たちの人生は、すべてが自分の思うように運んできたわけではなかっただろう。逆風の中、弟子たちは自分たちが進んでいるのかどうかも分からなくなっていた。しかし、そこにキリストが来てくださった。この出来事は、はるか遠い国で、遠い昔にあった話ではなく、人生において様々な波や風雨などの逆境に襲われている私たちの所に、イエスが今まさに向かって下さっているのだということを象徴しているのだ。しかし、弟子たちは、水上を歩いて近づくイエスを幽霊だと勘違いし、恐怖のあまり叫び声を上げる。私たちは自分を取り巻く状況にいっぱいになってしまっていて心に余裕を持ってないと、その状況の全体像どころか、自分の目の前にいる相手のことすら、ちゃんと見るができなくなる。キリストはそんな私たちに「安心しなさい」と言われる。これは「しっかりしなさい」とも訳される。不安に取り乱す私たちに、キリストは「しっかりしなさい。いつものあなたを取り戻しなさい」と励まして下さるのだ。

すると、ペトロが「私に命令して、水の上を歩いて御もとに行かせて下さい」と言い出す。ペトロは嬉しくて、イエスが舟まで来られるのを待つことができないのだ。この純粋な思い！ ただ彼は舟から降りてはみたものの、強い風や足元に広がる海に気が付いて恐くなり、沈みかける。逆境の中でもイエスだけを見て踏み出したからこそ、彼は水の上であろうと歩くことができたのに、ふとイエスから強い風や足元の大波に目を転じた時、それまで感じる事のなかった不安や恐怖に襲われてしまったのだ。だから私たちは、キリストの姿から目を離してはいけない。私たちは日常の中で、イエスのことよりも先に、自分の中の常識や世の中の価値観を思ってしまうことがある。それでは私たちは沈んでしまう。きっと、聖バレンタインもキリストだけをいつも見ていたのだ。イエス・キリストだけを見て歩んでいけば、海の上であろうと、私たちは決して沈むことはない。たとえ沈みそうになっても、キリストは必ずすぐに手を伸ばしてこの私を引き上げて下さる。私たちはそう信頼して、風が強く波が高いからこそ、イエス・キリストだけを見つめながら、嵐に波立つ海に足を下ろしてゆきたい。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook

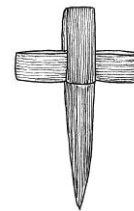


LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 (2月14日)

礼拝出席 大人 5名 献金 大人 6,000円 感謝  
聖書を読む会 出席 5名



◎次週 2021年2月28日(日) <sup>レント</sup>受難節 第2主日礼拝

(今年の「レント」(受難節・四旬節)は2/17~4/3です。レントの期間は、イエス様の生涯や十字架の意味、イエス様に従うとはどういうことかを考える時です)

招きの詞 詩編 130編 1-2節

聖書 マタイによる福音書 12章 22-32節

メッセージ 「あなたはどこから見てますか？」牛田匡牧師

賛美歌 305番 (©JASRAC)、288番 (©教団讃美歌委)、532番 (著作権消滅)

礼拝はインターネットで中継配信いたします。礼拝の中で2月生まれの方(と今年度2月までにお生まれの方)の誕生者祝福式を行います。

礼拝後に、釜ヶ崎支援のために「おにぎり作り」を行い、いこい食堂に届ける予定です。どなたでもご参加ください。

◎お知らせ

- ・コロナ感染予防のために、今年度は「縁農」に一度も行けていませんが、いつも保育園や釜ヶ崎を応援してくださっている和歌山県かつらぎ町の「とんとん有機農場」に、今年度の教会学校予算から30,000円を献金いたしました。
- ・新型コロナウイルス感染拡大のため、大阪府には3月7日まで「緊急事態宣言」が出され、不要・不急の外出・移動の自粛が要請されています。教会では感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会堂に共に集まって礼拝する形にこだわらずに、インターネットの中継配信を利用した在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝に参加ください。教会堂では、朝の検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードして頂くことができます。またご希望の方にはそれらをご自宅までお届けいたします。
- ・2月26日(金)18:30~20:30に、大阪教区社会委員会主催のオンライン講演会「いま、釜ヶ崎で何が起きている!? Vol.2 釜ヶ崎と新型コロナウイルス」(講師:大谷隆夫さん・渡辺拓也さん)が開催されます。参加費は無料です。前日25日(木)までに、右のQRコードよりお申し込みください。

◎ 次週以降の行事予定

	会場	メッセージ	行事
2/28	久宝寺地区 久宝まぶねこども園	牛田牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援
3/7	(新園舎・教会堂)	牛田牧師	ユーカリスト・教会を考える会
3/14	?	牛田牧師?	(河内地区講壇交換礼拝) 住道一粒教会との合同礼拝?
3/21	久宝寺地区	水谷牧師?	

大阪教区社会委員会主催 オンライン講演会

**いま、釜ヶ崎で何が起きている!? vol.2**

一 釜ヶ崎と新型コロナウイルス

2021年2月26日(金)  
午後6時30分~8時30分  
Zoomにて配信

※ 参加費無料

**報告・講演**

大谷隆夫(おおたに たかお)さん  
摂津富田教会牧師、1992年より関西労働者連帯委員会の専任者として、釜ヶ崎における医療・福祉・生活等の問題に関わる。

渡辺拓也(わたなべ たかや)さん  
特定非営利活動法人 社会理論・労働研究所研究員、大阪市立大学都市文化研究所シニア研究員、釜ヶ崎を中心にフィールドワークを行い、また、自ら事業に参画。その経験をもとに著書「釜ヶ崎へ暮らしと仕事を届ける」(洛北出版)を執筆、共著に「釜ヶ崎のすずめ」(洛北出版)など。

第84回大阪教区志願組会で、「あいりん組合センターの後継的な組織に担着する件」が可決されたことを受けて、大阪教区社会委員会は釜ヶ崎をめぐる状況について、関西労働者伝道委員会の専任者である大谷隆夫さんから定期的に報告を受ける機会を設け、同時に、専門家による講演を企画することを決めました。

一昨年10月に行われた集會では、阪口明弘さんから「労働者の権利」として行われ、新年会期間からの期間の稼働を確保するエンパワメントの観点から釜ヶ崎について講演いただきました。

今回の講演会では、自ら現場に住み込み労働者として生活しながら、釜ヶ崎に生きる人びとの間に聴いてもらった渡辺拓也さんが講演させていただきます。

新型コロナウイルスはわたしたちの生活に大きな変化をもたらした一方で、新しい環境に置かれる者を積極的に包摂して社会的な包摂を推進する必要があります。釜ヶ崎においてどのような取り組みが行われているのか、そして、新型コロナウイルスとは何なのかを釜ヶ崎をとおして考えたいと思います。

主催 日本基督教団 大阪教区 社会委員会